

インボイス制度廃止と、負担を軽減する
「2割特例」「8割控除」の継続を求める請願

【請願趣旨】

長引く物価高が国民の生活を直撃し、実質賃金が低迷する中で、個人消費が冷え込んでいます。中小業者は人手不足や賃上げ圧力が強まる中で必死の努力を続けていますが、価格転嫁はままならず、経営悪化に拍車がかかる状況です。インボイス制度によって課税業者にされた売上高 1000 万円以下の小規模事業者は、消費税を納めるために貯蓄を取り崩し、借入れをするなど、苦しめられています。

2026 年 10 月からインボイス制度の「2 割特例」や「8 割控除」など負担軽減措置が廃止・縮小されれば、フリーランスや中小事業者の苦境が一層深まります。

2025 年 7 月 20 日に行われた参議院選挙では、物価高対策として消費税減税とインボイス廃止を掲げる政党が多く議席を獲得しました。消費税を増税し、インボイス制度を実施してきた自公与党は、衆参両院で過半数割れとなりました。民意は消費税減税だけでなく、インボイス制度の廃止も求めています。

こうした趣旨から以下の請願を行います。

【請願事項】

- 一、インボイス制度を廃止すること。
- 一、廃止されるまでの間、「2 割特例」「8 割控除」を継続すること。

氏 名	住 所（〇〇県△△市□□町 1-2 ←番地までお書きください）

全国商工団体連合会（取扱団体： ）